

夜道を歩いていて怖いと感じたことはありませんか？

新聞やテレビで犯罪のニュースを見聞きして、自分の住むまちで起きたらどうしようと思ったことはありませんか？

ここ数年、犯罪件数自体は減ってきています。しかし、空き巣狙いや車上荒らしといった犯罪が多く発生し、身近な生活空間に不安を感じている方も多いのではないのでしょうか。

地域防犯とは

今、自分たちの手で自分たちの住むまちを犯罪から守ろうとする**地域防犯**という考え方が広まってきています。

地域防犯活動は、身近な生活空間での不安を解消することに役立つとされています。

この活動を行うことにより、**犯罪を未然に防ぐことができる**、**子どもやお年寄りなど狙われやすい住民を犯罪被害から守ることができる**といった効果が期待できます。

地域防犯の取り組み

地域防犯の取り組みは、さまざまな種類があります。その中でも、最もよく行われている活動は**パトロール**です。

おそろいの腕章やジャンパーを着用して歩いたり、青色回転灯を装着した自動車で巡回したりするものなどがあります（**左ページ参照**）。

また、愛犬と散歩をするときに腕章を着用したり、愛犬にバンダナを着ける「ワンワンパトロール」もあります。

これらは、犯罪者に対して、地域で防犯に取り組んでいることをアピールし、**犯罪を未然に防ぐ効果**があります。



そのほかにも次に挙げるような取り組みがあります。

環境美化運動

落書きの除去や違反広告物の除去などを行います。軽微な犯罪を放置しておく、犯罪が起こりやすくなるためです。

花いっぱい運動

きれいな町並みをつくることにより、犯罪者に対し、地域がきちんと管理されている印象を与えるため、犯罪が起こりにくくなります。

子ども110番の家

地域ぐるみで子どもを守るボランティア活動です。不審者から声を掛けられたときなど、子どもが助けを求めてきた場合に、その子どもを保護

したり、警察などへ連絡したりします（**左ページ参照**）。

これらの取り組みは、長く続けることが大切なので、気軽に無理なく行えることがポイントです。



区役所の取り組み

中央区実施プラン「ふれあいプラン・ちゅうおう」では、「安全・安心に暮らせるまちづくり」を最重点項目の一つとして位置付けています。

区民の皆さんが、安全で安心して暮らせるよう、地域防犯などについて関係機関との連携、適切な情報発信、地域活動への支援など、総合的な取り組みを進めています。

子どもを見守るネットワーク会議



▲平成19年12月開催の会議の様子

中央区は、平成18年3月に「中央区子どもを見守るネットワーク会議」を設置し、地

域防犯の取り組みを下から支えています。これは、子どもたちが事件・事故に巻き込まれる事態に対処するため、地域で子どもの見守り活動を行っている団体同士の情報交換の場を設け、安全・安心なまちづくりを進めることを目的としたものです。

現在この会議には、区内で子どもを見守るために自主的に活動を行っている13団体が参加しています。毎回、各団体における活動報告や日ごろの活動の中で感じることなどについて活発な意見交換が行われています。この会議を通して、個別に活動を行っていた団体同士が情報を共有することにより、地域防犯の輪が広まりつつあります。

中央区タウントーク 「あなたの街で市長と語ろう！」

市長が地域の人たちと直接お話をするタウントークを今年も開催します。

第一部は「安全で安心なまちづくりを考えよう」をテーマに、市長を交えてのパネルディスカッションを行います。

第二部は、市政全般について自由な意見交換を行います。

◆日時 9月20日(土)

午前10時30分～午後0時30分（午前10時開場）

◆会場 サッポロファクトリーアトリウム（北2東4）

※当日は、手話による通訳を行います。

※当日の様子をラジオカロスサッポロ（78.1MHz）で生放送します。

あなたの街で市長



〔詳細〕 総務企画課広聴係 ☎231-2400（内線472）